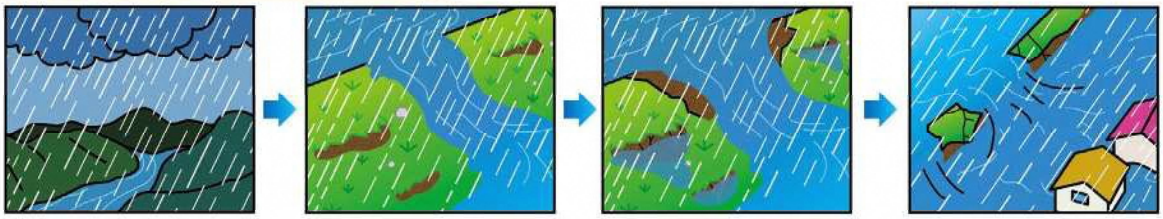
「洪水」を知る

以下の情報を参考に、洪水時における対応についてあらかじめ確認しておきましょう。

洪水とは、豪雨によって河川の水量が急激に増加し異常な流量になることをいいます。堤防が破堤したときには、水の力は非常に強いので避難の時期を誤らないよう早めの対応が必要です。

外水はん濫（がいすいはんらん）



大雨などによって、川の水が増え、水かさが上がり始めます。

堤防いっぱいまで水が増えると、川の水が溢れ出します。

溢れ出した水により、堤防の一部が崩れ始めます。

崩れた場所を通り、勢いよく水が流れ出します。

内水はん濫（ないすいはんらん）

街などに降った雨は、排水路などを通って川に排水されます。

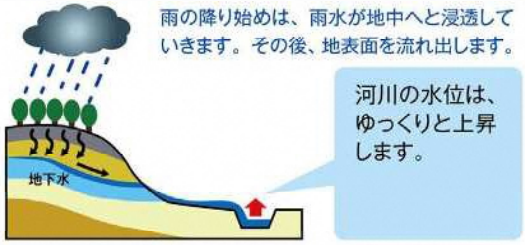
大雨が降ると川の水位があがり、排水されにくくなり、排水路などがあふれてしまいます。

大雨が降ったとき、道路の側溝にゴミなどが詰まり、排水されずに道路が冠水します。

高速道路や鉄道の高架下など道路が低くなっている所や、地下道などに雨水がたまり冠水します。

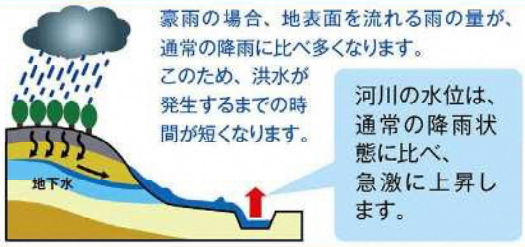
通常の水位上昇　長雨による洪水の発生過程

雨の降り始めの状態で見ると、地表面へと降った雨は、地中へと浸透していきます。その後、地表面が飽和した状態になると、雨は地表面を流れ出します。なお、雨が地表面を流れ出すまでの時間は、地表面がどれだけ水分を含んでいるかによって変わります。また、河川の水位は、ゆっくりと上昇します。



急激な水位上昇①　集中豪雨による洪水の発生過程

短時間に集中的に降る雨による洪水の発生過程は、通常の降雨状態と様相が異なります。豪雨時には、地中へ浸透する雨の量よりも地表面を流れる雨の方が多いため、通常の降雨状態に比べて、洪水が発生するまでの時間が短くなります。また、河川水位も急に上昇する傾向にあります。



急激な水位上昇②　都市部による洪水の発生過程

地表面の状況が人工的に変化すると、洪水の様子にも大きな影響を与えます。例えば、森林や水田が宅地に変わったり、地表面が建物や舗装によって覆われることによって、雨水の地中への浸透がなくなったりするため、降った雨のほとんどが短時間で川に達します。

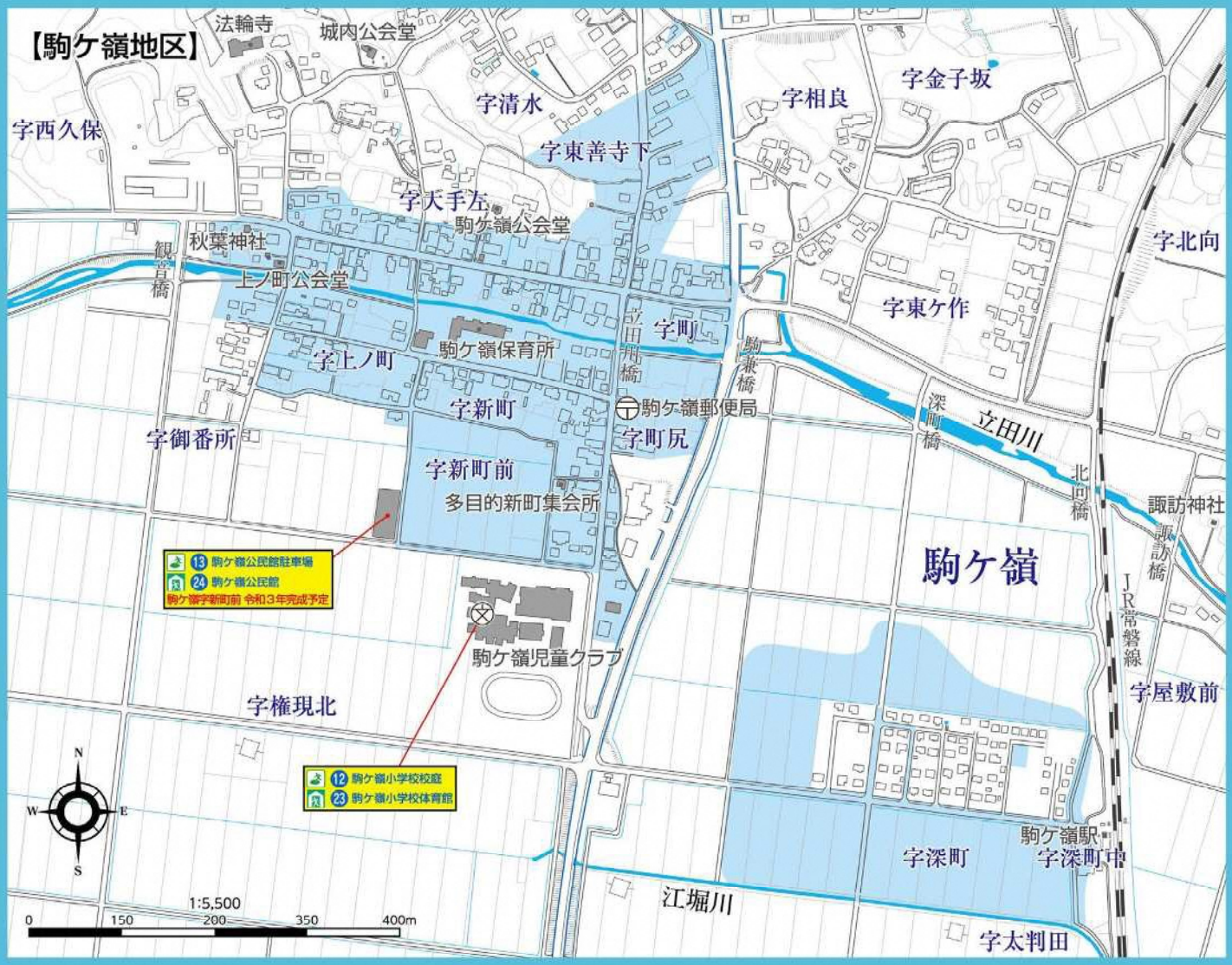
過去の水害エリア

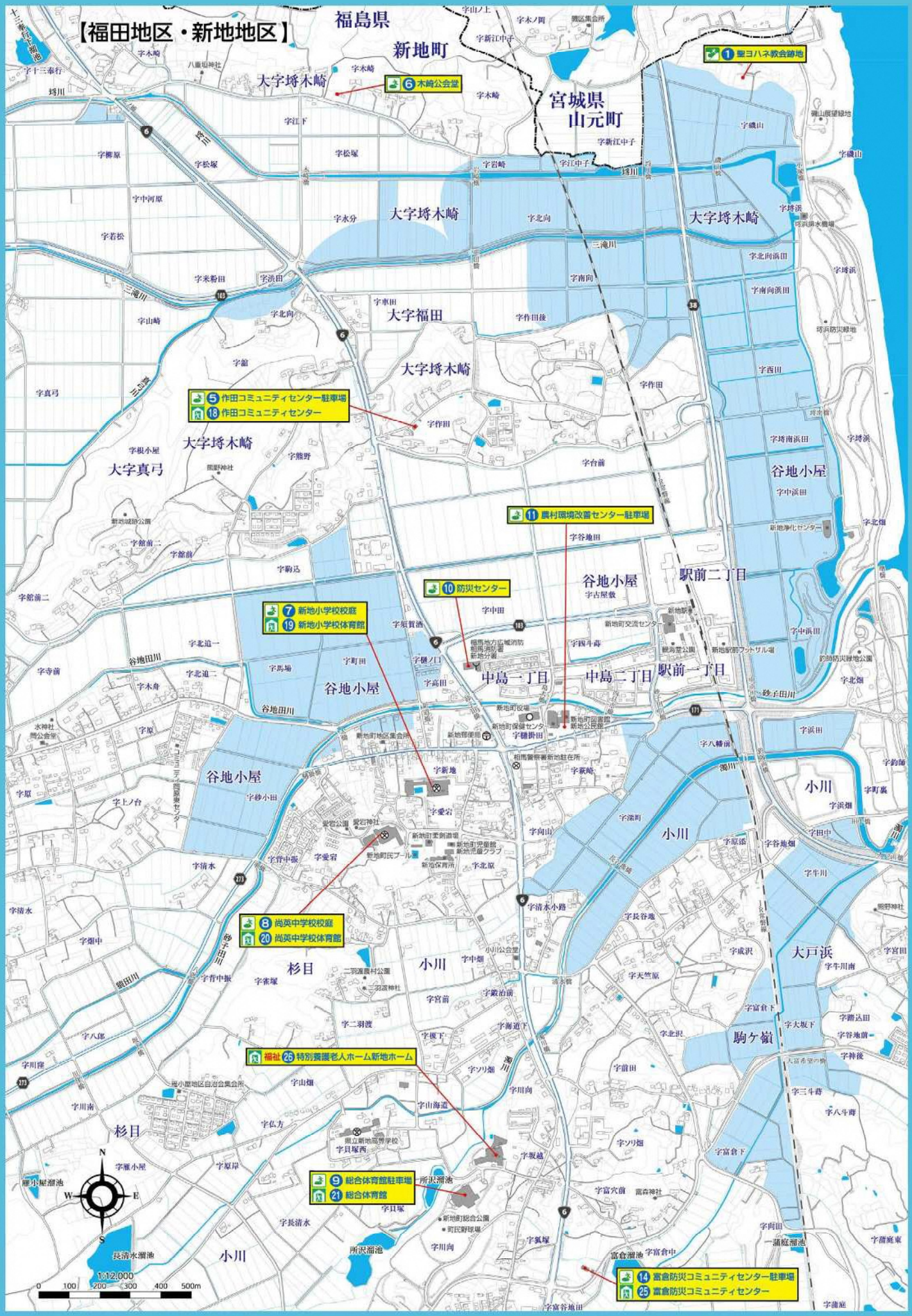
新地町では、過去に豪雨や台風による内水氾濫が発生しております。
この地図に示されたエリアは地区の代表者や消防関係者の情報をもとに、過去において水害が発生したエリアを水色で着色しております。
（駒ケ嶺地区・福田地区・新地地区）

近くにお住いの皆様は、普段より避難経路などを確かめ、災害時には早めの避難を心がけましょう。

※避難する際の注意!

豪雨や台風で避難する際は、この水害エリアを通らずに、避難所や避難場所へ避難する事が重要です。




【福田地区・新地地区】
福島県
新地町
宮城県
山元町
1 聖ヨハネ教会跡地
6 木崎公会堂
5 作田コミュニティセンター駐車場
18 作田コミュニティセンター
11 農村環境改善センター駐車場
10 防災センター
7 新地小学校校庭
19 新地小学校体育館
8 尚英中学校校庭
20 尚英中学校体育館
福祉 26 特別養護老人ホーム新地ホーム
9 総合体育館駐車場
21 総合体育館
14 富倉防災コミュニティセンター駐車場
25 富倉防災コミュニティセンター
大字塚木崎
大字福田
大字真弓
谷地小屋
駅前二丁目
駅前一丁目
中島一丁目
中島二丁目
小川
杉目
大戸浜
駒ケ嶺
1:12,000
0 100 200 300 400 500m